

NEWS LETTER

創刊号

2025.August

東京都公立大学法人



東京都立大学

P2



東京都立産業技術大学院大学

P4



東京都立産業技術高等専門学校

P6

理事長からご挨拶

ニュースレター創刊にあたって

2025年4月から東京都公立大学法人理事長に就任した中山泰男です。

このたび法人として新たにニュースレターを発刊いたします。各校の取組や学生・教員の活躍などのトピックをお伝えしていきますので、ぜひ皆様にご覧いただければと思っております。

さて、本法人は、東京都が設置した「大都市における高等教育機関」として、その都市力を大いに活用して、東京の発展を支えるための人材育成と研究力強化に邁進しています。

東京都立大学では、今年度から国際金融人材育成プログラムを開設したほか、既存の各学科への英語学位プログラムの導入と2028年度の国際系新学部への設置に向けた準備も進めています。また、東京都立産業技術大学院大学及び東京都立産業技術高等専門学校では、内外の変化の激しい環境の下での産業界・金融界の課題やニーズに応えられる即戦力となる高度専門職人材やものづくりスペシャリストを育成するため、日々取組を進めているところです。

日本、東京の競争力強化に貢献できる人材輩出のために邁進する、本法人及び各校に対して、引き続きご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



東京都公立大学法人 理事長
中山 泰男

76年東大法卒、日銀入行。
05年日銀政策委員会室長。
07年セコム常務取締役、16年社長、
19年会長、24年特別顧問。
25年から東京都公立大学法人理事長を務める。

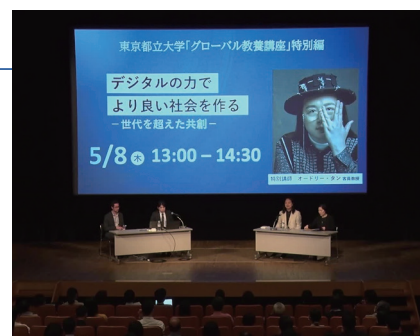
法人の今

オードリー・タン氏が登壇
都立大グローバル教養講座※を開催

台湾の元デジタル発展相で、2025年4月に都立大客員教授に就任した同氏の講演を開催。デジタル技術を用いて民主的な意思決定や市民生活の効率化に貢献する「デジタル民主主義」の実現に向け、台湾で活用したアプリ「Pol.is(ポリス)」を紹介し、これを用いて聴講者とディスカッションしました。

※国際的に活躍する様々な分野の第一人者による特別講座。

グローバル教養講座HP ▶



NEWS LETTER

学長からご挨拶

学問の力で、東京から世界の未来を拓く 都立大の歩みを皆さまへ

81年東大大学院理学系研究科博士課程修了、理学博士。92年東京都立大学理学部助教授。
98年同教授、21年から東京都立大学学長を務める。専門は宇宙物理学分野。



東京都立大学 学長
大橋 隆哉

卒業生の皆さま、日頃より、東京都立大学の教育・研究活動に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、卒業生向けニュースレターを発行し、本学の状況をお伝えすることで、これまで以上に皆さまとのつながりを深めたいと考えております。在学中に築かれた結びつきを大切に、卒業後も本学の歩みを身近に感じていただけるよう、様々な情報をお届けしてまいります。

このニュースレターでは、本学による最新の研究成果や、重点的な取り組み、学生の課外活動や受賞歴、教員の活躍など様々な場で活躍している様子を紹介させていただきます。東京都立大学がどのように成長し続け、社

会に貢献しているのかを、卒業生の皆さまに感じていただけるような内容をお届けしてまいります。そのうえで、皆さまからのご意見やご希望もぜひお寄せいただければ幸いです。

東京都立大学は、これからも「学問の力で、東京から世界の未来を拓く」をあるべき姿とし、大都市東京ならではの都市に立脚した教育研究に取り組んでまいります。その歩みを支えるのは、在学生や教職員だけでなく、全国・世界で活躍されている卒業生の皆さまです。今後とも、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

都立大の今

若手研究者の挑戦を支える 「知のみやこプロジェクト」を開始

都立大では、分野を限定せず優秀な若手研究者を採用し、一人の独立した研究者として自由に活動できる研究環境を提供する「知のみやこプロジェクト」を新たに開始しました。日本の研究力低下が懸念される中、やる気とチャレンジ精神にあふれた若手が集い、自らの研究に打ち込める場を提供することで、大学の研究を力強く推進します。

詳細はこちら▶



英語学位プログラムの導入(2027年度～) 国際系新学部の開設(2028年度)を目指す(※構想中)

さらなる国際化推進の取組の一環として、英語のみで学位を取得できる「英語学位プログラム」の既存の各学科への導入と、「国際系新学部」の開設に向けた準備を進めていくこととしました。広く国内外の学生が共修することで、文化や価値観の違いを理解し、世界と伍する柔軟な発想力と高度な語学力を身につけたグローバル人材を育成します。

詳細はこちら▶



この先生に注目! >>>

人間健康科学研究科の大平新吾助教が日本放射線技術学会研究技術奨励賞撮影分野(CT)を受賞しました!

人間健康科学研究科放射線科学域の大平新吾助教が、公益財団法人日本放射線技術学会の研究技術奨励賞(CT撮影分野)を受賞しました。受賞論文は、最新のDual-energy CT (DECT) 技術におけるCT値の測定精度を多施設間で比較したもので、臨床における信頼性向上に貢献する内容です。専門家による査読を経て選ばれた本賞は、大平助教にとって大きな励みとなり、今後も研究活動に一層力を注ぐ決意です。



都市環境科学研究科の仲俊治准教授が、日本建築学会作品選奨を受賞しました!

都市環境科学研究科建築学域の仲俊治准教授が、2025年日本建築学会作品選奨を受賞しました。受賞作品「SCOP TOYAMA」は、築50年の旧県職員住宅を改修・増築し、オフィスや住居、ショップを融合させた拠点施設です。高校生とのワークショップを通じたカフェの設計など、地域との協働も特徴。団地の再生を通じて、建築が地域社会の活性化に貢献できることを示した点が高く評価されました。



この学生に注目! >>>

TMU EntreBloomビジネスアイデアコンテスト2024実施

2024年12月、「TMU EntreBloom ビジネスアイデアコンテスト2024」本選が開催されました。1次審査を通過した都立大生8組が、「未来を豊かにするアイデアを活かしたビジネスプラン」をテーマに、それぞれの独創的なアイデアを発表しました。社会課題への鋭い視点やユニークな発想が光る内容ばかりで、聴衆を引き込む話し方や、チームで協力して審査員の質問に答える姿からは、学生たちの真剣な取り組みと創造力が感じられました。



詳細はこちら▶



東京都の「都民による事業提案制度」に都立大生の提案が採択

東京都の「都民による事業提案制度」において、都市環境学部 都市政策科学科3年(当時)の菊池真帆さんが提案した「地域とつながる若者フォーラム」事業が採択され、令和7年度予算案に反映されました。854件の応募の中から有識者審査と都民投票(2,607票)を経て選出。この提案は、自治会等のつながりの希薄化や高齢化を踏まえ、学生の地域貢献を応援し、地域との新たな関係づくりを目指す事業です。



都立大テコンドー部が3年ぶりに「全日本学生テコンドー選手権大会」で総合優勝

第36回全日本学生テコンドー選手権大会が府中市で開催され、東京都立大学テコンドー部が3年ぶりに総合優勝を果たしました。部員たちは日々の練習に加え、部内戦や出稽古を通じて実力を磨き、全国の舞台で成果を発揮。特に今年度は1年生の入部が多く、先輩との交流も活発で、部全体の士気が高まりました。次回大会での連覇を目指し、今後も努力を重ねていきます。



Topic

上野淳元学長が令和7年春の叙勲を受章

令和7年春の叙勲受章者が2025年4月29日(火)付で発表されました。本受章は、毎年春と秋に内閣府より発表されるもので、本学関係者では、上野淳名誉教授が受章されました。

都立大公式WEBマガジン『メトロノワ』でも都立大の魅力を広く発信中!

都立大のつながりを世界へ広げる



都立大をもっと詳しく、もっと身近に

詳細はこちら▶



東京都立大学

南大沢キャンパス 日野キャンパス
荒川キャンパス 晴海キャンパス
丸の内サテライトキャンパス

公式サイト▶



X(旧ツイッター)▶



YouTube▶



Instagram▶



NEWS LETTER

学長からご挨拶

教育と研究のブラッシュアップを継続



東京都立産業技術大学院大学 学長
橋本 洋志

90年早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程修了、08年産業技術大学院大学教授、22年から東京都立産業技術大学院大学学長を務める。専門は電気工学分野。

東京都立産業技術大学院大学は、本年度、創立20年、開学19年目を迎えました。

ニュースレター創刊をうけ、挨拶と併せ本学の近況について2点紹介いたします。

1つ目は、本学の提案事業「東京都立産業技術大学院大学次世代の産業技術界を牽引するDXリーダーのAIIT型養成プログラム(2024~2033年度)」が、文部科学省の大学・高専機能強化支援事業「高度情報専門人材の確保に向けた機能強化(支援2)」に選定され、今年度より、現在の事業設計コース、情報アーキテクチャコース、創造技術コースの3コースの学びの領域に、「情報アクセラレーター分野」、「デジタル価値共創分野」、「DXサステナビリティ分野」の3分野の学び

を新たに展開しました。また、これに伴い、入学定員を100名から115名と15名(各コース5名)増員いたしました。

2つ目は、2022年度の運営諮問会議答申「リカレント教育推進に向けた出口の質保証と、修了後も学び続けることができる体制づくり」も踏まえ、本学で生涯学習を実現する制度である「AIIT修了生コミュニティ」において、現在、3コースから集まった修了生の方々が社会的に意義の高い研究活動を進められています。興味のある方は、ぜひ本学の教員にご相談ください。

上述のとおり、本学は教育と研究のブラッシュアップを継続することで、今後も修了生の皆さんにとって誇ることのできる大学院として活動を続けてまいります。

産技大の**今**

次世代の産業技術界を牽引するDXリーダーのAIIT型養成プログラムが2025年本格始動

本学が提案した「次世代の産業技術界を牽引するDXリーダーのAIIT型養成プログラム」が、文部科学省令和6年度大学・高専機能強化支援事業「高度情報専門人材の確保に向けた機能強化」に選定されました。

大学・高専機能強化支援事業は、大学又は高等専門学校を設置者に対し、デジタル・グリーン等の成長分野の学部等の設置等に必要な資金に充てるための助成金を交付することにより、全国各地における当該成長分野の学部等の設置等を促進することを目的とした助成事業です。

本学は、当事業において、産業技術界の次世代に対応できるDXリーダー(技術とビジネスとデジタルを融合して価値創造が行えるリーダー)を養成する教育プログラムを提案しました。

今後、現在の1専攻3コースの学びの領域に横断的に3つの新分野「情報アクセラレーター分野」「デジタル価値共創分野」「DXサステナビリティ分野」を組み込んだ『次世代の産業技術界を牽引するDXリーダーの育成』に取り組みます。

詳細はこちら▶



この学生に注目! >>>

三好きよみ教授PBLチームが第17回情報システム教育コンテストで最優秀賞を受賞

2025年3月15日(土)、情報アーキテクチャコースの三好きよみ教授(プロジェクト・マネジメント)が担当するPBLチームが、一般社団法人情報処理学会情報処理教育委員会・情報システム教育委員会が主催する「第17回情報システム教育コンテスト(ISECON2024)」にて「事業会社のデジタル人材育成のためのワークショップ」について発表を行い、『最優秀賞』を受賞しました。



詳細はこちら▶

本学学生が「計測自動制御学会第37回社会システム部会研究会」にて学生賞を受賞

2025年3月14日(金)、創造技術コースの林久志教授(人工知能とエージェント)の2024年度のPBLでの研究成果を、計測自動制御学会第37回社会システム部会研究会において発表し、創造技術コースの田鍋史生さんが学生賞を受賞しました。

発表内容は、災害避難所への避難の意思決定に関する家庭内の議論を生成AIエージェント同士の会話としてモデリングしたものであり、従来にない最先端のシミュレーションモデリング・分析技術手法として大変注目され、多くの質問やコメントを受けました。



詳細はこちら▶

この活動に注目! >>>

2025 AIIT PBL プロジェクト成果発表会を実施

2025年2月11日(火)、本学の学生がPBLプロジェクトの成果をプレゼンテーションしました。

PBLとは、Project Based Learningという実務体験型の教育手法であり、プロジェクトの課題を達成する過程でIT業界及びものづくり業界で真に役立つ実践的なスキル等を身につけることができるものです。



詳細はこちら▶

高嶋晋治教授PBLチームが活動発表展示、韓国学生との交流会を実施

2025年1月24日(金)～26日(日)、創造技術コースの高嶋晋治教授(プロダクトデザイン、モビリティデザイン他)のPBLチームが、「未来の移動をデザインする」をテーマにヒルトンピアアートスクエア(ヒルトン東京B1)で韓国の成均館大学校(SKKU)の学生と共同で活動発表展示を行いました。



詳細はこちら▶

田部井賢一准教授PBLチームが品川区へ政策提言を実施

2025年1月10日(金)、本学創造技術コースの田部井賢一准教授(認知症医療学)のPBLチームは、孤独孤立対策に関する調査研究の結果を品川区への政策提言としてまとめ、報告・意見交換会を実施しました。



詳細はこちら▶

Topic

AIIT 公式インスタグラムを開設しました

この度、産技大公式インスタグラムを開設しました。

今後いろいろな記事を投稿していきますので、ぜひフォローしてください!



詳細はこちら▶

東京都立産業技術大学院大学
品川シーサイドキャンパス

公式サイト▶



X(旧ツイッター)▶



YouTube▶



Facebook▶





NEWS LETTER

校長からご挨拶

首都東京の「高専ブランド」に国内外から 熱い視線が！

86年東京都立大学大学院工学研究科修士課程修了、同年東京都立工業高等専門学校助手。96年博士(工学)取得。
20年東京都立産業技術高等専門学校副校長、22年から校長を務める。専門は医用超音波計測、電子工学。



東京都立産業技術高等専門学校 校長
吉澤 昌純

本校では、東京都が描く「2050東京戦略」へ貢献し、また産業界の変革にも迅速に対応できる実践的技術者を育成すべく、教育の質向上のための点検改善を不断に行ってまいりました。情報セキュリティ技術者・航空技術者の育成プログラム設置や、品川キャンパスのコース・カリキュラム改編、荒川キャンパスにおけるIoTとAI技術の社会実装を学ぶ未来工学教育プログラムを中心とした医工連携 教育・研究プロジェクトの実施等、様々な施策の結果、卒業生、修了生の技術力、知識、信頼性は、「高専ブランド」として企業や大学(院)でおしなべて高い評価を得るに至っております。また、学生の様々な将来像を見据え、起業に触れ、

アントレプレナーシップを醸成するスタートアップ教育支援プログラム「地動計画」も開始いたしました。

高専の教育システムは、理論と実践力を併せ持ち、即戦力となる人材を育成するという点で海外からも高く評価されております。本校でも、教員OBが中心となり設立支援を行ったモンゴル高専をはじめ複数の海外教育機関と協定を締結し、国際協力という観点で教育の支援を継続しております。

この様に、大きく進化を遂げ、評価を得ている本校においていただき、ぜひ現在の取組や在校生の活躍ぶりを実際にご覧いただければと強く願っております。

産技高専の **今**

2025年度スタートアップ教育支援プログラム 「地動計画」

東京都のスタートアップ推進事業展開を受け、本校では2023年度より、スタートアップ教育支援プログラム「地動計画」を開始しました。スタートアップに必要な不可欠なひらめきや疑問等を、まだ誰も体験したことのないモノゴトとしてクリエイティブに具体化していく経験を積む機会を提供しています。



詳細はこちら▶

地動計画
Discovery Create Proof

2025年度インターナショナル・ エデュケーション・プログラム(IEP)

本校では、世界で活躍するエンジニアの育成を目的に、国際化を推進する様々な取り組みを進めています。

IEPは海外のものづくりを取り巻く環境を学ぶプログラムで、毎年学生に多くの学びをもたらしています。



詳細はこちら▶



この学生に注目! >>>

DCON2024にて産技高専品川キャンパス「Technology 七福神」が最優秀賞を受賞いたしました!

2024年5月11日(土)開催の第5回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト2024(DCON2024)にて「Technology 七福神」が最優秀賞及び複数の企業賞を受賞いたしました。「Technology 七福神」は、詐欺電話をリアルタイムで検知し、利用者に通知するプロダクト「Fraud Shield AI」を開発しました。



詳細はこちら▶



謎研同好会が第4回リアル脱出ゲーム甲子園全国大会へ出場決定!

品川キャンパス謎研同好会は、2025年8月30日(土)、31日(日)桜美林大学新宿キャンパスで開催される第4回リアル脱出ゲーム甲子園全国大会に出場することが決定いたしました。第1回大会は優勝、第2回大会は4位、第3回大会は準優勝といずれも好成績を収めています。4年連続で全国大会出場するのは本校のみとなります。応援よろしくお願いします!



詳細はこちら▶



この先生に注目! >>>

機械システム工学コース 君塚政文准教授が2023年度笹川科学研究奨励賞を受賞しました!

機械システム工学コースの君塚政文准教授(受賞当時:助教)が2023年度笹川科学研究奨励賞を受賞しました。本賞は日本科学協会が主催し、科学研究助成対象者となった若手研究者の励みとなるよう創設されました。君塚准教授は「小型波浪観測ブイにおける評価方法の開発と最適筐体形状の解明」を研究課題としました。



詳細はこちら▶



専攻科修了生と伊藤幸弘教授が工作機械技術振興賞・奨励賞を受賞

2023年に専攻科機械工学コースを修了した石戸勝利さん(現 SOLIZE(株))と機械システム工学コースの伊藤幸弘教授が、公益財団法人工作機械技術振興財団「第45次工作機械技術振興賞・奨励賞」を受賞しました。対象は電気加工学会全国大会(2023)で発表した「電解液ジェットを用いた付加加工における重ね合わせの原理を用いた形状創成」です。



詳細はこちら▶



2024年度進学・就職状況について

本校に期待を寄せる企業から幅広い求人が多数寄せられ、2024年卒業生の内定率は98.8%を達成しています。また、毎年、延べ100人以上の学生が大学編入学・専攻科入学試験に挑戦して数多く合格しており、2024年度卒業生において国公立大学等現役進学者数は109人となっています。(2025年3月13日(木)現在)

【本科の主な就職先(過去3年間)】

NTT東日本グループ、ソフトバンク(株)、三菱重工業(株)及びグループ各社、アマゾンジャパン(同)、LINEヤフー(株)など

【本科の主な進学先(過去2年間)】

東京都立大学(25名)、長岡技術科学大学(34名)、
東京大学(3名)など

詳細はこちら▶



Topic

産技高専の広報活動について

高専の魅力をより幅広い方々にお伝えするため、学校見学会等での本校の紹介や、ホームページ・SNSでの情報発信を行っています。2023年度からは学生広報チームの活動も始まり、新しい層へのアプローチも考えながら、広報活動をより一層強化していきます。

卒業生の皆様も、ぜひ高専の魅力を周りの方に広めていただければ幸いです!

東京都立産業技術高等専門学校

品川キャンパス
荒川キャンパス

公式サイト▶



YouTube▶



X(旧ツイッター)▶



Facebook▶



法人のサステナビリティに関する取組

日本の国公立大学として初

「ネイチャーポジティブ宣言」を発出

2021年7月に日本の国公立大学として初となる「気候非常事態宣言」を発出したことを踏まえ、『2030年代にカーボンニュートラルを達成することを目指す』ことを掲げ、カーボンニュートラル推進プランも誕生。これに加え、2024年7月にネイチャーポジティブ宣言を発出しました。



詳細はこちら▶



法人内でカーボンニュートラル推進アプリを導入

東京都立大学法人ではカーボンニュートラル推進アプリ「カーボンリンク」をリリースしました※。個人のエコな取組を可視化し、削減できた温室効果ガスを記録する「エコアクション」機能等により、身近な取組が温室効果ガスの削減につながる実感を持つことを目的としたアプリです。学生や法人教職員の環境負荷に関する意識向上に努めていきます。

※在学生及び教職員対象



詳細はこちら▶



ご寄附のお願い

2024年10月から各校の学生支援や教育研究活動、法人の取組をより具体的に指定してご寄附いただけるようになりました。募集中の取組を1つずつご紹介します。

都立大

研究等支援基金



産技大

PBL プロジェクト支援



高専

科学技術展示館基金



法人

カーボンニュートラル・ネイチャーポジティブ基金



この他にも、各校の特色に応じた様々な寄附先をご用意しております。

クレジットカードや銀行振込により1,000円からご寄附いただくことが可能で、毎月又は毎年決まった額をご寄附いただくことも可能です。

是非メニューをご覧ください、みなさまからの温かいご支援をお願い申し上げます。

詳細はこちら▶



税制上の優遇措置

本法人への寄附に対しましては、税制上の優遇措置が受けられます。

・法人からのご寄附

寄附金の全額を損金算入することができます(法人税法第37条)。

・個人からのご寄附

個人で2,000円以上の寄附をされた方は、本法人の発行した領収書を添えて確定申告を行うことにより、「所得税」と一部自治体の「住民税」の寄附金控除を受けることができます。

詳細はこちら▶



東京都立大学法人

東京都立大学

東京都立産業技術大学院大学

東京都立産業技術高等専門学校

公式サイト▶



サステナビリティに関する取組▶



YouTube▶

